

2020年度 学校関係者評価報告書

2020年6月18日

学校関係者評価委員会
ホンダテクニカルカレッジ関西

■ 学校関係者評価

学校関係者評価とは、学校の自己評価の客観性・透明性を高め、学校と密接に関係する者の理解促進、連携協力による学校運営の改善を図ることを目的としています。具体的には、学校が策定した重点目標、計画の実施について自己評価を行い、その結果を踏まえ、今後の取組方針などについて、学校が選定した学校関係者評価委員に説明し、教育活動、学校運営等に係る課題を共有し、今後の方向性等に対する助言、評価等を頂くことで学校改善につなげることを目指しています。

■ 学校関係者評価委員会 開催概要

開催日時： 第1回 2020年6月18日 H30年度自己評価に基づく関係者評価
第2回 2019年11月開催予定 2020年度前期施策進捗報告に対する意見・進言

開催場所： ホンダ テクニカル カレッジ 関西

委員長： 松岡 孝 様 本田技研工業株式会社 日本本部 地域人事部 主事

委員： 舘 久忠 様 ホンダオートボディー株式会社 生産部 取締役 生産部長
辻井 茂満 様 株式会社 ホンダ四輪販売 関西 執行役員 営業部 部長
三橋 正彦 様 株式会社 ホンダ四輪販売 関西カスタマーサービス部 部長
河井 政昭 様 株式会社 ホンダ泉州販売 営業部 サービス課 課長
梶原 次昭 様 ホンダ テクニカル カレッジ 関西 後援会 会長

学校側 出席者： 五月女 浩 校長
寺尾 典篤 教務部長 兼 一級自動車整備研究科 科長
木村 泰之 教務部 自動車研究開発科 科長
白石 拓三 教務部 自動車整備科 科長 兼 自動車整備留学生科 科長
西山 忠臣 教頭 兼 学務室 室長（本委員会事務局）

■ 評価プロセス (第一回委員会)

- 委員会開催前に学校側より委員の方々に2019年度自己評価書をお送りし、ご意見・ご質問をいただきました。
- 委員会では、学校側より学園概要、教育内容、2020年度の重点課題、重点目標を説明し、まず委員会での課題共有を図りました
- その後、2019年度自己評価書の内容説明及び事前にいただきましたご意見・ご質問への回答・コメントをさせていただき、質疑応答を通して意見交換を行い、更に詳細に課題認識を深めました。
- そして、学校関係者評価委員会としてこの最終評価をまとめました。以下に、基準ごとの評価結果を報告致します。

■ 評価結果

基準 1：教育理念・目的・育成人材像等

- 「メーカー校の優位さを強調」は前提であり、「他メーカー校との優位性」を、より発信する必要があると感じます。
- 中期方針と2019年度方針と連鎖性があり、主要関心項目の具体性も明確になっている。
- ホンダフィロソフィーを基軸とした、人としての基礎、基本（マナーなど）の体得を進めて頂きたい。

基準 2：学校運営

- 学校運営方針は定められスムーズな展開ができています。
- 実態に見合った定員学生数の改定や業務効率を目的とした学事システム（学生・保護者）情報発信機能の遅れは早急な課題対応が必要と感じます。
- 教職員の質と活力向上の取り組み“外部研修への参加と国家試験へのチャレンジ”は、とても良い施策と思います。

基準 3：教育活動

- 学生の基礎学力低下が顕著というワードが再々見受けられます。
- 「選ばれる学園」に向けた各お取り組みは評価できますが、専門教育に偏りを感じます。
- 目標達成に向けた教員の確保やカリキュラムの充実または改善を早急に対応していただきたい。
- 特定認証等の制度により、一級整備士の必要性が高まっている。より多くの一級整備士を送り出すよう努めて頂きたい。

基準 4：教育成果

- 引き続き指導方法やカリキュラムの工夫などよろしくお願いします。
- 国家資格の取得には就労環境では困難であり、学生環境での100%取得をお願いします。
- 開発領域や就職率内定100%、一級整備士93.3%など概ね良好に展開できている継続展開をお願いします。
- 退学率の悪化については、削減に向けた対策を早急に立案下さい。

基準 5：学生支援

- ON LINE授業などの早期構築を期待します。
- 専門教育を行う環境としては十分な環境です。人間育成の観点からソフト面での環境強化が必要ではないでしょうか？
- 教育環境は概ね整備されている。女子学生の就学環境改善に余地がある。
- 充実した教育環境と認識しています。これからもCASEの進展に伴う、技術の進化に合わせた教育設備の更新をお願いします。

基準 6：教育環境

- 学校運営方針は定められスムーズな展開ができています。
- 実態に見合った定員学生数の改定や業務効率を目的とした学事システム（学生・保護者）情報発信機能の遅れは早急な課題対応が必要と感ずます。
- 教職員の質と活力向上の取り組み“外部研修への参加と国家試験へのチャレンジ”は、とても良い施策と思います。

基準 7：学生募集と受け入れ

- 整備以外の業種についての卒業生などのインタビュー動画をHPや学校検索サイト、YouTubeで配信して業種の広がりをアピールしてみても？
- 販社としても一助ながら店頭でのパンフレット・ポスター掲示など、告知活動を継続して参ります。
- 学卒が少数化する中、根気の伴う学生募集活動であり情報発信やPRが絶えることなく継続した募集活動の強化推進をお願いします。

基準 8：財務

- ・ 概ね良好。
- ・ 特にありません。

基準 9：法令等の遵守

- ・ 概ね良好。
- ・ 適正に運営されていることを確認しました。

基準 10：社会貢献

- ・ ビーチクリーン活動など新しい取り組みを評価します。少しずつ活動の輪が広がって、ホンダ学園の名前が知れ渡ることを期待します。
- ・ 数々の社会貢献へ取り組み、感銘いたします。販社としましても微力ながら、「Hondaビーチクリーン活動」にご協力させて頂きます。
- ・ 自発的社会貢献活動の教育展開をお願いします。

その他

- ・ 新型コロナウイルスにより、学校運営にも様々なご苦労があると推察します。学生については、表面的には元気でもメンタル的にダメージを負っている者も居ると思われまますので、例年以上にコミュニケーションの強化を図り、メンタル面のケアをお願いします。

■ まとめ

- ・ 自己点検・自己評価報告書や委員会で学園概要、教育内容、2020年度の重点課題、重点目標などの確認を行ない、前期レビューや昨今の環境認識を含めて重点課題を明確にして取り組まれていることを確認しました。今年度、重点課題としている事項への対応については確実な実績・成果に繋げるため、きめ細かな進捗管理を行なって取り組み強化をお願いします。
- ・ 今後も、ホンダ学園の強みを十分に活かし、自動車業界の変革にも柔軟に対応し、「選ばれる学園の確立」に取り組んで下さい。